

芋井地区市民ワークショップ

第1回 ワークショップ 振り返り

平成28年6月4日

Aグループ①

新しい文化

- ・ふるさとソング(旧芋井村民歌の復活)による文化、音楽化
- ・中山間地域のおいしいお米やリンゴなど食文化を守りたい
- ・豊かな水資源を活用した水力発電を…外灯、防犯灯など公共負担を軽減する

: カテゴリー

: 出された主な意見

人を増やす

- ・外から人をよびたい
- ・人口が増加すること
- ・子どもを増やす
- ・子どもが多くなるよう

皆が集まれる場所

- ・分校復活!
- ・子どもたちの笑顔
- ・小学校を残したい
- ・みんなが集まって話せる場所
- ・老人施設の確保
- ・いっぱいの人
- ・素晴らしい文化財残したい
- ・お年寄りがくらしやすい
- ・ショッピングセンターできないか
- ・地域のよりどころゲートボール場を作りたい

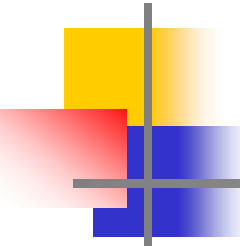
明るい地域

- ・公共施設、道路や河川水路の整備による水害対策をしたい
- ・人口増加のための移民を受けやすい地域づくりを
- ・地域が明るくなるよう
- ・コミュニティ豊かで明るい地域に
- ・昭和25年頃の芋井を取りもどそう(人口)
- ・冬の日当たりをよくする
- ・有線放送等地域内情報の活性化
- ・野生動物の被害をなくす
- ・公共施設を可能な限り一極集中化と共に、公共交通の整備

安全な地域も

飯綱

- ・飯綱地区との交流
- ・飯綱と芋井をむすぶ道を作る
- ・県道を広げよう
- ・観光客も来てくれる場所にしたい
- ・昔の芋井に戻りたい
- ・芋井のPRを積極的に行いたい
- ・飯綱地区との共同体化の促進



Aグループ②

明るくて安全な地域を作るためのアイデアをまとめた

地域内の情報の共有化

- ・防災無線、スピーカーの整備やそれに代わる設備が必要

公共施設の整備

- ・施設が分散しており利用しづらい
- ・公共交通や施設を整備してほしい


人口減少対策


- ・移住者に対するおもてなし、地域に馴染めるように地域行事への参加を依頼する
- ・市外からの宿泊者に対し、移住を働きかける(例:八千代市の小学生の里山経験)

地域資源の活用

- ・民泊事業、水力発電事業

Bグループ①

 : カテゴリー

 : 出された主な意見

地域活性化

- ・トレッキングコースの整備
- ・桜の里、焼酎の里、りんごの里
- ・飯綱地区と芋井地区の時間距離短縮化をしないとまらない
- ・芋井地区の中の飯綱地域
- ・休耕地を利用してイメージアップ
- ・空家利用、管理
- ・田舎料理店を作る
- ・仕事場がある
- ・農業の繁栄

高齢化対策

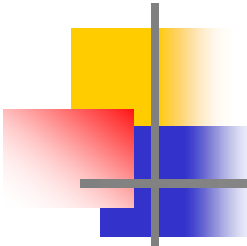
- ・安心して老後を過ごせる地域
- ・一人暮らしの老人の見守り
- ・老人のいこいの場所を作る
- ・老人のための施設がある
- ・共同作業により助け合いのできる体制

人口を減少させない

- ・子供達が一杯いる
- ・安心して子育て出来る地域
- ・いなか暮らしの好きな人を受け入れる！
- ・移住したくなるまち

災害に強い 地域づくり

- ・安全なまちづくり
- ・安全な交通環境(広い道路)
- ・情報伝達手段の確保
- ・明るく楽しく暮らせるまち
- ・公共交通機関の確保



Bグループ②

4テーマに分類し、意見をまとめた

地域活性化

- ・地域のブランド化(〇〇の里)
- ・遊休施設の活用(空き家、休耕地)
- ・農業の繁栄

高齢化対策

- ・高齢者向けの施設、見守りや助け合いの出来る体制を作る

人口減少対策

- ・子育てしやすい環境づくり
- ・移住したくなるまちづくりと受入れ態勢の整備

災害対策

- ・交通環境、情報伝達手段の整備

Cグループ①

暮らし

- ・里山らしい景色のあるところ
- ・大自然の気持ちいい暮らし、知らせたい！
- ・今住んでいる大人たちが笑顔で輝けるようになる！！
- ・住んでいて楽しい地域、住んでみたいと思える地域
- ・自然を活かした地域、農業等をする為に移住
- ・山だけど街に近いのがすごくいい など

交通

- ・車を運転できる間はいいのだけど…、そのあとが心配です
- ・若い世代が生活し易い地区(交通、通勤通学、日常生活)

他

- ・自分が楽しいと思えることの発信
- ・雪はどうなる？

: カテゴリー

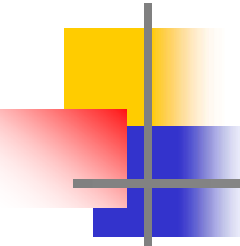
: 出された主な意見

子供達

- ・子育てに適した地域にする事で新たな住人を得る
- ・Uターンを考えられるようにする
- ・子供達が地元の魅力を感じ、ここで生きて行きたいと思う地域
- ・病気になった時に迷わずに行ける地域内の病院

地域

- ・本村と飯綱地区が仲良く協力し合える地区になればいいナ！！
- ・周りの人たちとは(近所)なるべく顔を合わせたいと思っていますが意外と機会が少ないのです
- ・地元地区の役員の見直し



Cグループ②

もっと**生活し易くなる**アイデアをまとめた

地域活性化

- ・飯綱と芋井地区の行き来が少ない、若い人が少ないから仕事を押し付けられることが課題
- ・地域の人たちが顔を合わせられる施設(図書館や店舗、支所など)を作り、交流を深める

子育て支援

- ・地域内に病院があれば不安が少なくなる

交通環境

- ・交通弱者や積雪時の交通をどうするかが課題

暮らし

- ・里山、自然の中での暮らしはアピールポイント
- ・自然を活かした地域づくり
- ・魅力を感じる人たちが移住してくるよう、若い人たちを多く集める

Dグループ①

②

空き家・若い人

- ・空き家に入ってもらえる人を募集する(HPなど)
- ・芋井のりんごをひきさげてアピールできる場所にキャラバン隊で出向く
- ・高齢化にともない、ちょっとしたお店(コンビニ的なもの)があるといい
- ・若者が日本一チャレンジできる地区
- ・若い人が増えて子供がたくさんになってほしい
- ・嫁が来る、仕事に通える、育児ができる
- ・地区の役員への加担(→出来ず引越しされる戸も…) など

□ : カテゴリー

○ : 出された主な意見

③

育児

- ・小学校に人数がほしい
- ・若い人が来ないと負担が増える
- ・学校、保育園は残してほしい
- ・小学校の中に児童センターと保育園が一緒にあると、親が安心かと… など

小学校が無くなると、おしまい

自然すぎる

- ・自然豊かで、市街地からもさほど遠くはないので芋井の良さをアピールできれば
- ・自然すぎると大変
住みやすい環境(手入れをする)
- ・熊、イノシシが出没しない
- ・道の駅(人を呼び込めるようなイベント施設)
- ・除雪、草刈が大変 など

自然

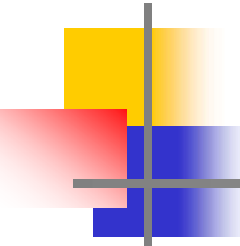
- ・自然の中で学習できる環境(もっと)
- ・公園がほしい など

自然過ぎると

①

仕事

- ・りんごづくりが仕事になる
- ・雇用がある
- ・芋井が目的地となること(観光地)



Dグループ②

地域活性化のアイデアと、芋井地区の**自然**についての意見をまとめた

仕事、雇用対策

- ・りんご栽培による雇用の創出、観光地化による新しい仕事の創出
- ・仕事に移住促進につながる

空き家対策

- ・移住者を受け入れるため、空き家賃貸の仕組みを作る


育児


- ・移住により子どもが増えると小学校が活性化される

自然

- ・市街地から遠くないが、自然が豊かなところがアピールポイント
- ・反面、自然が豊かすぎるため、クマやイノシシが出没するのがデメリット

Eグループ①

 : カテゴリー

 : 出された主な意見

- ・住民の人が誇りを持っている(自慢の…)
- ・地区の人で地区のいいところを語り合う場

- ・若者が見える(大学生とか)
- ・町(中心部)の人に気おくれしない

- ・地域のつながりを大切にしている
- ・何もないことの良さ

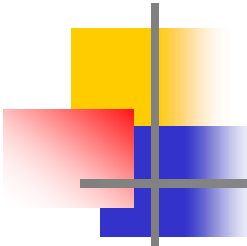
インフラ

- ・長野一戸隠間のドライブスポット
- ・道の駅
- ・本屋さん、図書館等
- ・住民が一堂に集まれる施設
(図書館等)を設ける
- ・野生動物と住民の境界線

アクティビティ

- ・第二の軽井沢
避暑地としてのブランド力を高める
- ・ベットタウン
市街地へのアクセスの良さ
- ・雪の提供

- ・若者の楽しむことのできる施設
- ・体験活動
(山、川を利用したレジャーなど)
- ・農村、自給自足体験
- ・山村留学
子どもの声が絶えない地域
- ・活動のある地区
(祭りなどのイベント)
- ・フラっとお酒が飲めるコミュニティ
など



Eグループ②

活性化のためのブランド化を模索

芋井地区のこころ

- ・住民が誇りを持っている
- ・地区の人が語り合える場が必要

インフラ

- ・本屋や図書館のような住民が一堂に集まれる場所が必要
- ・長野一戸隠間のドライブスポットの活用(道の駅等)

アクティビティ

- ・外部から人を呼び込めるような、自然を活かしたアクティビティ
- ・体験活動、山村留学、祭りなどのイベント

芋井地区のブランド化

- ・インフラとアクティビティから生まれる、「第二の軽井沢」や「市街地のベットタウン」